

## ● 診療科の特色

1. 当院の救急体制は「各科相乗り型」と「ER型」の両面を持ち合わせている。すなわち Walk-in および救急搬送されてくる患者のうち、成人患者に対しては救急科専従医(スタッフ、研修医)が初期対応を行い、各科医師と相談しながら初期診療を行い、入院加療は各診療科に依頼している。なお、小児救急患者には小児科救急担当医が対応している。
2. 上記の通り成人患者には、平日日勤帯の成人患者には主に救急専従医(内科系)、内科系および外科系救急当番、初期研修医が状況に応じて対応している。小児救急患者には、小児科の救急担当医が対応している。夜間・休日は主に内科系、外科系、および小児科の日・当直医がその役を担っている。
3. 救急専従医は 1 名のみであるが、総合診療科、脳神経内科、外科、小児科のサポートドクターとともに救急外来における診療と研修医教育を行っている。
4. 研修医に対しては内科系医師の協力の下、診療終了後に当日の診療内容に対する振り返りを行い、診療能力の向上を図っている。

## ● 診療実績

## 1. 救急患者受入実績

救急外来受診患者数	17,002 名
救急車搬入台数	3,074 台
救急入院患者数	3,810 名

## 2. 主要疾患群患者数 (院外心肺停止は救急外来での死亡確認を含む。他院で診断され、転院搬送された症例を含む。)

	疾患	患者数
1	外傷(頭部外傷を含む)・骨折	623
2	急性脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など)	191
3	心不全	99
4	院外心肺停止	22
5	急性冠症候群(急性心筋梗塞、不安定狭心症、冠攣縮性狭心症)	43
6	消化管出血	87
7	重症呼吸不全	118
8	腎不全(急性腎障害、慢性腎不全急性増悪)	31
9	敗血症(敗血症性ショックを含む)	31
10	大動脈疾患(急性大動脈解離、大動脈瘤破裂)	13

その他の救急疾患として、COVID-19 447 件、気管支喘息 250 件、気胸・血胸 28 件、急性虫垂炎 73 件、胆道疾患(総胆管結石・閉塞性黄疸・胆管炎) 68 件、胆のう炎 34 件、消化管穿孔 17 件、急性膵炎 22 件、マムシ咬傷 14 件、髄膜炎・脳炎 27 件、重症アレルギー・アナフィラキシー(ショックを含む) 153 件、静脈血栓塞栓症(肺塞栓症、深部静脈血栓症) 8 件、誤嚥性肺炎 94 件など

### 3. その他

- 1) 新型コロナウイルス感染症に対する対応 確定例 447 例 うち入院 38 例 疑似症(病名: 急性上気道炎、急性咽頭炎、COVID-19) 2,345 例
- 2) COVID-19 外来対応チームリーダーとして、病院全体の救急対応における指針作成・改定
- 3) 新規採用初期研修医に対する一次救命処置研修開催
- 4) 初期研修医に対する二次救命処置講習会(ICLS コース)開催
- 5) 医師・看護師以外の職員に対する一次救命処置講習(PUSH 講習会)
- 6) プライマリカンファレンスにおける研修医指導(毎週金曜日 7 時 30 分～8 時)
- 7) 岡山市消防局 救急救命士就業前教育 受入(1 名)

### ● 研究実績

なし